

## 次世代木材生産・供給システム構築事業の概要

◆ 用途別の需要に的確に対応できる木材のサプライチェーンの実現に向けた事業構想に基づく路網整備、伐倒・搬出を支援



安定供給に向けた構想を実現するため、事業者が森林・林業再生基盤づくり交付金において行う木材加工流通施設などの施設整備に関して、交付金配分の算定をする際に優遇

# 次世代木材生産・供給システム構築事業の実施イメージ

## <現状>

- 大量の木材を消費する施設整備の進展
- 国産材需要が急速に高まり、原木の不足やA～D材の需給バランスが崩れるなどの状況

需給ギャップの解消に向けて、きめ細かく対処

## <今後の姿>

### 次世代木材生産・供給システム構築事業



#### 構想の作成

- 木材流通の実態、森林資源の賦存状況等を踏まえ、事業実施地区を設定
- 都道府県は、事業体と連携して事業構想を作成

#### 申請・採択

- 都道府県は事業構想を林野庁に提出
- 林野庁は、全国的な観点から構想の内容を審査し、承認の是非を決定

#### 事業の実施

- 林野庁は、都道府県ごとの配分額を決定
- 都道府県は事業体ごとの交付額を決定し、これを受け事業体が定額事業を実施